

平昌五輪後の朝鮮半島は和解か、 軍事衝突か？ 日本はどうなる？

コリア・レポート編集長 辺 眞一
ビヨン ジン イル

- *日韓の根拠なき楽観
- *Jアラートに隠された意味
- *軍事的オプシヨン行使へ
- *ブラッディ・ノーズ作戦が浮上
- *日韓への事前協議はない
- *北朝鮮は必ず反撃する
- *見つかからない落しどころ
- *中国は限定攻撃を黙認
- *米軍の配備は整っている
- *中国には対米関係が最重要



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はあいにくの雪でどうなるかと思いましたが、幸い前回ほどではなかったようです。

今日は、皆様おなじみの辺さんにおいでいただきました。世の中は今オリンピックでもちぎります、メディアではのんきな話を中心でござりますが、実はオリンピックの陰で、アメリカと北朝鮮の対立の問題が非常に難しい時期に入りつつあります。あまり歓迎すべきことではありませんが、軍事衝突の危険は、われわれも念頭に置いておかなければいけない、そういう状況なのだと思います。今日はそういう、われわれの知らないことを辺さんから教えていただくということでございます。それでは辺さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

日韓の根拠なき楽観

辺 1年ぶりの再会ということで、去年はたしか韓国の当時朴槿恵大統領がどうなるのか、大統領選挙になれば誰が当選するのか、日韓関係はどうなるのかという話がメインだったと記憶しております。1時間10分のうち最後の15分間が北朝鮮問題について触れました。

改めて、私がどういことを言ったのかというのを整理してまいりました。こういうことを最後に言っておりました。「結論的に申し上げますと、北朝鮮とアメリカの今の状況は、平和的な状況、あるいは外交的なトランプ・金正恩会談とか、米朝の交渉という予測がなかなか難しい」と。実際に去年は会談がありません